

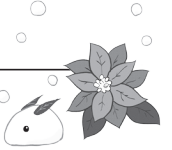
ASUKU ASK



12

2025

No.443



刈谷市の新規個配がスタートしました

7月から始まった刈谷での拡大活動。専従職員と理事が計画を練り、多くの当日スタッフも参加し、進めてきた結果、9月末にはなんと105人もの新しい仲間が加わりました。配送が始まるまでの待機中には、職員が声をかけて企画への参加を促し、配送開始前の交流ができました。



▲かりやパクパクフェスタ@刈谷みなくる

おもちゃ氷出現!



氷に閉じ込められたおもちゃを水鉄砲で撃って取り出す「おもちゃ氷」は、子どもも大人も大興奮!

かき氷でひと涼み



▲コーミの田中さんと東京カリントの板垣さん



▲おとうふ工房いしかわの「きらず揚げ詰め放題」はまつりの定番!

生産者も参加しての大型企画

天気にも恵まれ、刈谷駅前のみなくるを使った屋外のイベントは連日多くの参加者が訪れました。暑い中でしたが、生産者、組合員、職員が力を合わせて生活クラブをアピールしました。

出会いの広がり

イベント以外にも、チラシまきやキャラバン活動で地域の人たちとたくさん交流。コナミスポーツクラブではレッスンの待ち時間にゆっくりお話でき、レッスン後にはアイスクリームやみかんジュースが子どもたちに大好評でした。



▲キャラバンカーで会いに行きます

contents

P1 刈谷市の新規個配がスタートしました

P2 「フードバンク愛知」訪問 9/2
みんなでパクパクACTION クリ正の注文が始まります

P3 「遺伝子組み換え作物」いらない! 買わない! 作らない!

P4 GMOフリーゾーン
音羽まつり

参加申込
QR有



この機関紙は、責任ある森林管理をしている林業者を応援し、世界の森林保全貢献につながるFSC® 認証紙を使用しています。

「フードバンク愛知」 訪問 9 2

生活クラブのフードバンク「おふくわけ」を、子ども食堂など支援を必要とする団体へ届ける中間支援組織フードバンク愛知を訪問しました。

コーディネート機能

天井まで積みあがる段ボール、突然やってくる大量の物資、短い賞味期限の食料品。これらを適切に管理し、生鮮食品であればすぐに受け取りに来られる団体へ振り分けて連絡する。まさに「コーディネート機能」こそが中間支援の役割だと感じました。



▲大量の物資であふれかえった倉庫

大量のフードロス

外箱に凹みがあるだけで商品としては廃棄。世界中から選手が集まる大きなスポーツイベントだと、帰国時に手つかずの大量の食料品が捨てられる。すぐにトラックで駆け付け回収、野菜や果物などの生鮮食品もあるため、同時に受け取りに来られる団体に連絡をとります。個人への食品支援も続けていますが、食料も人手も、まだまだ足りません。フードバンクは、「もったいない」を「必要とする人」に届ける。けれどその届ける手も不足しています。



▲理事・地域福祉委員・事務局でお邪魔しました

参加者の感想より

「フードバンク」「子ども食堂」と、「貧困」という言葉が同時期に出てきたため結びついてイメージされることが多い。しかし、フードバンクはフードロス。子ども食堂は子どもの孤食。けっして「貧困」と結びつけてはいけないし、特に注意しているとの言葉が心に残りました。

「おふくわけ」とは

組合員が注文し、その「おふくわけ」の品目をまとめて地域のフードバンク団体に届ける仕組み。組合員は消費材と一緒に注文するだけでフードバンクの支援に参加できます。

みんなて ACTION

クリ正の注文が始まります

貴重な国産鶏種

生活クラブの鶏肉「丹精國鶏」は、国産鶏種「はりま」のお肉です。日本の鶏肉は外国鶏種が98%を占め、国産鶏種はわずか1~2%と、とても貴重です！飼料は遺伝子組み換え混入防止管理ずみのトウモロコシや国産の飼料用米などで、抗菌性物質は使わないことを基本にしています。また、窓の無いウィンドレス鶏舎ではなく、自然の光や風を感じられる鶏

舎で、じっくり・のびのびと育てる事で、歯ごたえのある味わい深い鶏肉となっています。

バランス良く食べよう

現在、モモ肉やムネ肉に利用が集中しています。大切な一羽のお肉をムダなくいただけるように、ピオサパレシピなどを活用して色々な部位にチャレンジしてみてください。肝が苦手と言う方は、ぜひ手羽元や手羽先をどうぞ！安心して骨までしゃぶられるのは

生活クラブのお肉ならではの!!

9月22日に行われた鶏肉学習会では手羽先でチューリップを作る方法を教えて貰いました。少しコツがいるものの、とっても美味しいので挑戦する価値ありです！皆さんもぜひお試しください(^^)

(単協消費委員 曾田祐季)



▲手羽先のチューリップ

「遺伝子組み換え作物」いらない！ 買わない！ 作らない！ みんなで声をあげよう！ ～ GMOフリーゾーン宣言 ～

GMOフリーゾーンとは

GMO (Genetically Modified Organism) = 遺伝子組み換え生命体、フリーゾーン = それが存在しない地域。つまり、遺伝子組み換え作物を栽培しないことを宣言した地域のことです。

知らないうちに食べている

大豆・トウモロコシの多くは輸入です。そして、輸入のほとんどは「遺伝子組み換え」です。「遺伝子組み換えでないものを選んでくれるはず…」と思うかもしれませんが、大豆・トウモロコシは様々なカタチに姿を変えています。加工品、お菓子、調味料…。知らないうちに私たちは遺伝子組み換え作物からできた物を食べています。

食品表示の落とし穴

食品表示は「すべて」が書かれていません。量が少なければ書かなくてもよしとされたり、そもそも表

示義務のない場合もあります。

ゲノム編集に関しては「登録・報告・表示の義務」がありません。他の生物の遺伝子を組み込んだ「遺伝子組み換え」と違い、遺伝子を壊しただけなので「突然変異と変わらない」との理屈です。

運動の始まり

GMOフリーゾーン運動は、スローフード発祥の地として有名なイタリア・トスカナ地方のワイン農家によって1999年に始まりました。日本で本格的にスタートしたのは2005年。農薬空中散布に反対し、環境に配慮したコメ作りを行っていた滋賀県高島市の農家が圃場に畳3畳大の看板を立て、GMOフリーゾーン宣言したのが始まりです。

農地：10万7,744ha(434ha増)

個人サポーター：

29,373名(1,511名増)

事業者サポーター：

203事業者(22事業者増)

2025年3月現在(前年比)

音羽圃場のGMOフリーゾーン看板

生物多様性条約第10回締約国会議(CBD-COP10)カルタヘナ議定書第5回締約国会議(CBD-MOP)が名古屋で開催されるのにあわせ、「音羽米圃場にGMOフリーゾーン看板を立てよう!」と組合員カンパを実施、音羽米を育てる研究会・JAひまわり・生活クラブ愛知が集い2010年8月にお披露目をしました。

その後、数度の塗り替えを経て2025年5月、新しくなった看板が圃場に完成しました。



▲看板お披露目会にて

4面にサポーター&カンパ募集のお知らせがあります。

花縁便

「一日2食しか食べられない」「風呂は週に2回」「孫のお小遣いのための100円貯金もあきらめた」これは11年間にわたる「いのちのとりで裁判」で闘った千人以上の生活保護受給者の声の一部である▼2013〜15年にかけて生活保護費が最大10%も引き下げられた措置に対し、最高裁は今年6月、国側の敗訴判決を言い渡した。しかし、厚労省は未だに謝罪も違法状態の是正等もしていない。保護費が減額された受給者は200万人以上に上る。さらに生活保護基準は医療・介護の保険料など40以上の制度に関わる▼今回の裁判は歴史的な裁判であり、憲法が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」は、病気や失業、障がい、高齢などによって生活に困った時に権利として堂々と使える私たちのセーフティネットである▼誰かが苦しみ、泣いているところでは美味しいご飯は食べられない。

(員外理事 朝倉美江)

9月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,082人	148人	-81人
出資金	1人当り出資金	
1,366,771 千円	122,918 円	
供給高	1人当り供給高	
212,876 千円	20,346 円	

▼共済加入件数

ハグくみ	CO・OP共済	エコ共済
1,324 件	4,723 件	8,576 件

生活クラブでんき契約者

累計449件(9月)

再エネ100%プラン 25件
時間帯別プラン 14件



生活クラブ
でんき


今月のリユース率

ビン 回収率(9月)

900mlびん…203.7%
500mlびん…78.3%
Rびん全体…96.4%


グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle




GMOフリーゾーン (農地)登録を募集します!	GMOフリーゾーン サポーターを募集します!	GMOフリーゾーンカンパを 募集します!
所有の農地を「GMOフリーゾーン」として登録しませんか?農地の所在地と面積を報告し、宣言文書に署名します。	「遺伝子組み換え作物を作らない農家・売らない生産者を応援したい! 遺伝子組み換えでないものを選んで買いたい!」と思ったら登録をお願いします。	登録された農地に「GMOフリーゾーン看板」を立てています(希望する場合)。看板を立てるための費用として20万円を目標にカンパ活動に取り組みます!
登録の方法 二次元コードからお申込みいただけます。 特設ページからお進みください。 		期間: 11月3回~1月4回 OCR注文の方(注文番号) ▶145211 もしくはeくらぶから

音羽まつり

11/30(日) 10:00 ~ 15:00
JAひまわり音羽支店駐車場ほか




地元の「もみじまつり」など3会場で同時開催!
 音羽メシのブースでは、音羽米を使った「アランチーノ(ライスコロッケ)」や音羽米食べ放題の地元で大人気「スパイスカレー」も販売されます。
 生活クラブは、五平餅や玄米団子の販売を担当。ご飯のお供の販売も行います!
 豊川市音羽の魅力を満喫できる1日、家族・お友だちとお越しください。




リフレッシュツアーカンパ


「リフレッシュツアー」は2013年から続けている被災地支援企画で、今回が11回目の開催です。福島や栃木の地から、子どもたちを一時的にでも愛知で受け入れをして、心身ともにリフレッシュしてもらうことが目的です。この活動は組合員の皆さんの心温かいカンパで成り立っています。1口500円でカンパできます。ぜひ多くの皆さんのご協力をお願い致します。

OCR注文の方 6桁の注文番号 ▶142603
eクラブ「カンパのご案内」からお申し込みいただけます。






生活クラブ愛知 公式LINE はじめました!



友だち登録をお願いします ▶▶
 リニューアルしてアドレスが変わりました!
 すでにお友達の方もお手数ですが
 再登録をお願いします!



理事会からのメッセージ

◆豚肉の利用がピンチです!
生活クラブと平田牧場は40年以上の提携の中で、豚の健康や環境に配慮したおいしい豚肉を話し合って作り上げてきました。
平田牧場の豚肉の特徴は・・・

- ★日本の米育ち豚
- ★飼料用米で食料自給力向上に貢献
- ★エサのトウモロコシはNON-GM
- ★開放豚舎でゆったりりのびのび
- ★完熟堆肥で地域内資源循環

◆生産現場はもっとピンチです!
私たちが食べなければ、生産者はこの豚肉を作り続けることがで

きなくなってしまう。愛知では前年に比べて約8%も利用が減っていて生産者に負担を強いています。このままでは今までと同じような豚肉が食べられなくなってしまうかもしれません。

◆自分と大切な人の健康のために
私たちの身体は食べたものでできています。安心して食べられる良質なたんぱく質である豚肉で、健康な身体づくりを目指しましょう。まだ平田牧場の豚肉を知らない人には、切り落としやひき肉の「お試し160g」をおすすめします。

◆生産現場を守るのはあなたです
飼料代や人件費、物流費の高騰など、生産者を取り巻く環境は厳しくなっています。生産者はなんとかして私たち組合員のために健康な豚を育て、おいしい豚肉を届けるために努力しています。組合員が食べたい豚肉を作ってくれる生産者がいることは決して当たり前ではありません。

◆予約は食べる約束
「生活クラブのオーダーメイドの豚肉」を私たちが予約して食べることで、生産者に安心して作り続けてもらいましょう。

発行日: 2025年11月17日 発行部数: 10,170部 発行責任者・編集: 理事会 編集・作成: デザイン・カーズCOCOT 印刷: 株式会社マルワ
 生活クラブ生活協同組合愛知本部 〒466-0045 名古屋市中区野並1-120 TEL 052-899-0802 FAX052-899-0802 名古屋センター: TEL 052-899-0801
 尾張旭センター: TEL 0561-55-3611 豊田センター: TEL 0565-28-8345 豊橋センター: TEL 0532-65-9750 ひだまり館: TEL 0564-73-2767